

博物館周辺と武尊山の地表徘徊性昆虫の比較

清水涼介

はじめに

群馬県立尾瀬高校理科部は毎月群馬県の北部に位置する武尊山で地所徘徊性昆虫の調査を行っている。今回は、標高、気候によって種類にどのような変化がみられるのか検証するため尾瀬高校の理科部で行っているピットホールトラップを用いて博物館周辺で調査結果を比較した。地上徘徊性昆虫とは後翅が退化した昆虫の総称で地上を徘徊することが多い昆虫である。主に動物の死骸や枯れ葉を食べることから森の掃除人と呼ばれることもある。

方 法

期間は 2013 年の 6～9 月に一回ずつ実施した。地点は博物館周辺の林縁部（標高 200 m）一地点と武尊山水源の森（標高 1530 m、1610 m、1730 m）各一地点に設定した。8 × 14 m の区画内に 40 個のピットホールトラップを設置した。今回は高さ 9.5cm、直径 5 cm のプラスチックのコップを使用。地上徘徊性昆虫は同定するのが難しいので今回は専門家の方に同定を依頼した。

結 果

標高	武尊山												富岡市上黒岩			
	1530m				1610m				1730m				200m			
種名/月	6月	7月	8月	9月	6月	7月	8月	9月	6月	7月	8月	9月	6月	7月	8月	9月
ホシナガゴミムシ	7	1		2					9	4		2				
ベーツナガゴミムシ					1											1
ハルトゲナガゴミムシ			1		1		4				1					
マルガタツヤヒラタゴミムシ	1		2													
コクロツヤヒラタゴミムシ	1															
ニッコウホソヒラタゴミムシ	1															
ミヤママイマイカブリ	1															
ホソヒラタシデムシ	1				2	6			1							
アカガネオオゴミムシ		1	8				2									
クロナガオサムシ			1					2		1						
コクロホソナガムシ北関東上越亜種											1					
ホソアカガネオサムシ		1														
ヨツボシヒラタシデムシ			1													
アオオサムシ													2	2		
アトボシアオゴミムシ													1			
アトワアオゴミムシ													1			
ツチカメムシ													2			
ナガマルガタゴミムシ													1			
オオヒラタシデムシ													6			
オオツヤヒラタゴミムシ													1			
オオスナハラゴミムシ													1			
セアカヒラタゴミムシ													1	1		
オオマルガタゴミムシ														2		
スナゴミムシダマシ														3		
オオクビホソゴミムシ														1		

武尊山では 13 種、上黒岩では 11 種を確認することができた。

考 察

それぞれの地点でアオオサムシ、クロナガオサムシとオサムシの中でも違う種類が見られた。クロナガオサムシは青森～中国地方中部まで、広く本州に分布し、平地から 2000 m を越える高地まで分布している。アオオサムシは中国地方以北に分布し、比較的標高の低い所に生息している。

おわりに

今回の活動を通して、環境の違う所に生息する昆虫の種類はこんなに違うのかと改めて実感した。また新たに出てきた疑問などもあったので、今後はその疑問を解決できるようにしていきたい。